



大濠内科新聞



大濠内科

歯科医師

井上 麻乃

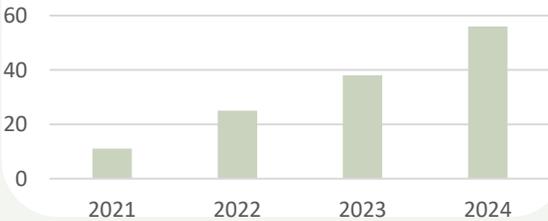
令和6年9月

大濠内科では、食事・運動・睡眠・口腔ケアなど生活習慣に関する診療を行っています。
今回は、睡眠についての取り組みを紹介させていただきます。ただきたいと思っています。

当院では、睡眠時無呼吸症候群に対する無呼吸の検査、治療であるマウスピース治療・CPAP治療を行っています。



睡眠時無呼吸症候群 マウスピース治療件数



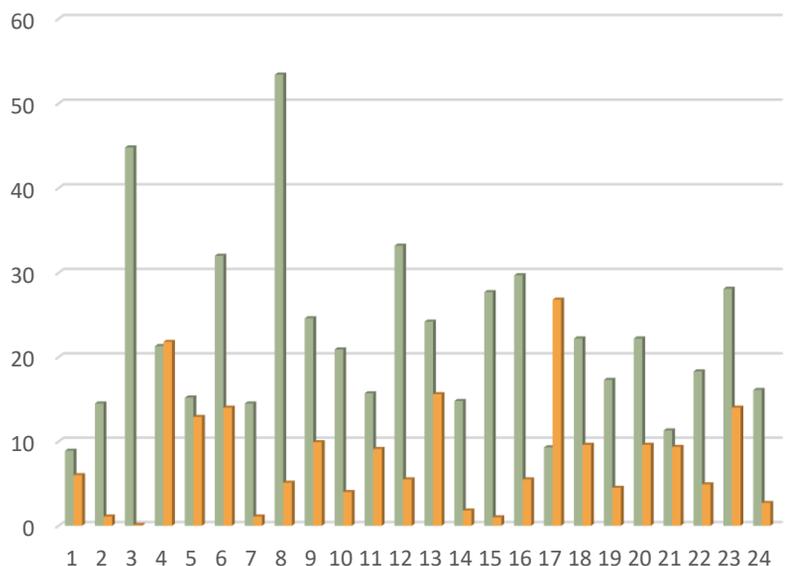
大濠内科で2021年5月の開院以来、マウスピース治療をおこなってまいりました。
基幹病院からの紹介もありマウスピース治療は現在までの合計130件させていただいております。

〜歯科〜

「夜中起きなくなりました」
「日中眠くありません」
「運転も不安がなくなりました」
など自覚症状も改善しているようです。

マウスピースの効果としては、下の顎を前方に出すことにより、舌根が一緒に持ち上がり、気道が広がり無呼吸が改善します。
また、マウスピースを着しているとき、気道の浮腫もとれて、心不全の状態もよくなります。
無呼吸を改善することにより高血圧・糖尿病・心房細動などの心疾患の予防・改善します。

マウスピース装着前後のAHI推移



こちらは、マウスピース装着前と装着後で睡眠ポリグラフィ検査を行った24症例の結果です。
緑：装着前 橙：装着後
AHI(無呼吸低呼吸指数)の改善の有無を御覧いただきました。
治療効果を発揮できていると実感できています。

睡眠時無呼吸症候群の検査・治療について何か気になることがあれば、お問い合わせください。

